



あなたのおかげで、
みらいのためのべんきょうが
できました!

1日33円から
**パートナー
会員**
ご協力をお願い

どこからも支援が届かない場所に住む
シリアの子ども達に教育を届ける



[NPO 法人ピースオブシリア]

〒558-0033 大阪市住吉区清水丘 1-15-23



知っていますか？シリアのこと

治安は日本より安全！医療・教育も無料でした。

「難民」「戦争」「怖そう」そんなイメージを持たれがちなシリア。ですが、実はおもてなしで有名な国でした。バスで隣に座った人がいつの間にかバス代を払ってくれて、驚いて理由を聞くと「遠くから来てくれたからね」と。歩いていたら道案内されたり、お茶を出してもらったり、ご飯をご馳走になったりというのも、シリアを訪れた人の「あるある」でした。



日本と比べて20倍の治安の良さ。首都も、夜に出歩いても危険を感じないほどでした。



就学率は99.6%で、大学まで無料。高い教育レベルは他国まで有名。出産・医療も無料で受けられました。



四季があり、海や川などの自然も。食料自給率は100%を超えていてシリア料理はとっても美味しい！

2011年3月、シリアで戦争が始まりました。

豊かで平和だったシリアで戦争が起こったのは2011年3月。様々な国の思惑が絡んで、長期化する戦争の中で、人口の半分が難民・国内避難民として、元々住んでいた場所を離れる状況になりました。



たった4年間で、一時期6%まで就学率が下がった地域がありました。10年経った今も半分以上のシリアの子ども達は教育を受けることができていません。



難民となった19歳のシリア人は「家族でご飯を食べたいけど、その夢は生きている間に叶わない」と話します。かつての当たり前が叶わない夢になるのが戦争です。



難民となっても変わらない「おもてなし」。大変な状況の中でも、お茶やご飯に誘われ、ご馳走してくれるシリアの人たちの姿勢に、尊敬と感動で胸がいっぱいになりました。

課題ではなく魅力を。シリアの今と昔を伝える活動

写真展や講演活動を通じて、「私たちと変わらない生活をしていた人たち」が難民となるのが戦争であることを伝えながら、平和の大切さに気付くことができるような活動をしています。

もっと
知りたい方へ

🔍 **ピースオブシリア**

記事、オンラインイベントやYoutube配信などを通じて、シリアを身近に感じてもらえるように発信をしています。



私たちにできることは？

シリアの復興、未来の平和を作るのは子ども達

政治的に複雑な状況の中、他から支援が届かない地域があります。そこでは、先生の給与がないために、学校が閉鎖してしまい、武装勢力の兵士や物乞いが将来の選択肢になる可能性があります。そこで、私たちは、先生の給与を届け、教育を継続させるだけでなく、「今日の食事」ではなく「より良い教育」について考えてもらう「教育の質の向上」につながる支援を続けています。



学校が空爆の標的になることもあり、トラウマを抱えてしまう子ども達もいます。「学校って楽しいよ」と感じてもらうお絵描きや運動のアクティビティは大切な取り組みです。



学校に行かない期間が3年続くと、学校に戻らなくなり、読み書き・計算ができない「スキマの世代」に。教育支援は、緊急性の高い支援でもあります。

皆さんの支援は、私たちの希望です。

子ども達に夢を聞くと、「怪我をした人たちを治したいからお医者さんになりたい」「未来の子ども達みんなに教育を届けたいから先生になりたい」「戦争で壊れてしまった建物を直したいからエンジニアになりたい」と答えてくれます。子ども達は戦争を理解し、シリアの復興に自分も関わりたいと願って、こうした夢を持つのです。

世界から見捨てられたと感じることもありました。しかし継続的に皆さんからご支援いただけることが、どれほど大きな希望になっているか！言葉にできないほど感謝しています。

シリアの幼稚園 園長 ナジュワ先生

作っているのは学校ではありません。未来の世代です。

教育は国を作り直すために本当に重要な基礎になります。日本の皆様が特に、長期的な視野でシリアの教育に気をかけて下さっており、とても感謝しています。平和なシリアが実現した時、「日本の皆さんと子ども達が一緒に未来を作った」と言えるでしょう。あなたは未来を作る架け橋となっております。

現地パートナーNGO・教育プロジェクトマネージャー ウサマ・アッジャン

私たちの活動と寄付の活用例

越冬
支援



1日33円(毎月1,000円)

シリアの冬は氷点下になる寒さ。暖かな教室で学べるよう、灯油を届けることができます。

教室
運営



1日100円(毎月3,000円)

どこからも支援が届かない地域で学ぶ子ども達1人が教育を受ける環境を届けることができます。

先生の
給与



1日300円(毎月10,000円)

無給で働いていたシリアの先生1人が、家族を養いながら先生を続けられます。

世界は変えられる。あなたの「想い」で。

「シリアをまた行きたい国にしたい」

「シリアに住んでいたの？怖くなかった？」

シリアに青年海外協力隊として活動していた僕に、何度も聞かれた質問です。戦争が始まる前だったので、笑いながら「全然そんなことないよ！安全で平和だったよ」と答えていました。しかし、2011年3月からシリアの戦争が始まり、現実とは思えないニュースが流れてきました。何ができるか分からなかった僕は、難民となったシリアの人達に会いに行くことから始めました。そこには、変わらないおもてなしをしてくれる友人達がいました。

Piece of Syriaは、2016年にたった一人で始めた活動でした。課題を強調するのではなく、「シリアをまた行きたい国に」と、課題より魅力を伝えながらの活動は、時間はかかりますが、共感してくださる皆さんのおかげで、今までに2,000人以上の子ども達に教育を届けることができています。いつか平和になったシリアで、皆さんをご招待することを目指して全力で活動しています。そんな未来を仲間として一緒に叶えていきませんか？



NPO法人 Piece of Syria 創設者・理事長 中野 貴行

ご支援者様の声



**無関心でいたくなかった。
自分のできる範囲で関わり続けたい**

中学・高校と世界史や現代史が好きで、色々な国で起きた出来事を「教科書に書いてあること」として学んできました。中野さんからシリアの過去と今、現在の活動内容を聞いた時に、単なる知識・情報ではなく、「リアル」なんだと感じました。

私は特にシリアに興味や関心があるわけでも、シリアに行ったことがあるわけでもなく、ただ「無関心」でいたくなかっただけなんです。

会社員 森元 まゆみさん

ご支援者様の声

**私達は微力であるが、無力ではない
という信念に共感**

海外の市場のお蔭で暮らせていただいております、何かできることはないかと思っていました。日本だけが幸せということは、もう不可能です。全てが繋がっています。私の会社も小さな町工場ですが、社員と共にシリアやトルコのことを身近に考え、世界との繋がりを持つ努力をしています。多くの日本の方が世界との繋がりを持ち、助け合いの気持ちを共有できることを願っています。

経営者 高橋 祐子さん

Piece of Syriaパートナー会員のご参加方法

Piece of Syriaパートナー会員へは、ホームページからご参加いただけます。

Piece of Syriaという名前には、「一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、パズルのPieceのように力を合わせて、Peaceを実現できる大きな力に」という想いを込めています。

そんな「あなたと一緒に活動していきたい」という想いで「月額サポーター」ではなく、「パートナー会員」と呼ばせて頂いております。ご参加、お待ちしております！

パートナー会員の方限定で、団体の想いやシリアの豆知識を詰め込んだ小冊子「Piece of Syriaパスポート」をお届けしています▶



ピースオブシリア

<http://piece-of-syria.org>

「活動についてもっと知りたい」と思われた方は、是非、ウェブサイト・SNSをご訪問くださいませ。
(定期的に活動説明会・報告会を実施しております)

